



IOI 2018 JAPAN
TSUKUBA, IBARAKI

第 30 回国際情報オリンピック日本大会

選手団紹介

2018年9月1日～8日、いよいよ『第30回国際情報オリンピック日本大会 (IOI2018JAPAN)』開催！
IOI2018JAPANには、加盟している87の国と地域から、過去最大の人数の参加が見込まれています。
日本代表選手団、特別参加選手団の皆さんを紹介いたします。



井上 航 選手

北九州工業高等専門学校3年

私は、AtCoderというコンテストに毎週参加したお陰で、情報オリンピックの競技プログラミングを学べました。国際情報オリンピックでは、自分の力が出せるよう、メダル獲得を目指して、精一杯がんばります。



清水 郁実 選手

N高等学校3年

暑さのために我を忘れることの多くなってきた今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。こちらは日々読書活動に励み、来たる9月の情報オリンピックに備え気力を養っています。



行方 光一 選手

筑波大学附属駒場高等学校2年

情報オリンピック日本代表選考会には、これまで4回参加してきました。今回ようやく日本代表に選ばれ、しかも、初の日本大会に出場できることは、大変名誉なことだ嬉しく思っています。競技には、先輩方が残された成績に劣らぬよう、十分準備して臨みたいのです。

また、国際情報オリンピックは、情報科学の分野で優秀な同年代の人たちが世界各国から集う数少ないイベントです。これを機会に、海外選手とのネットワークも広げたいと思います。



岸田 陸玖 選手

京都市立堀川高等学校3年

情報オリンピックに参加するのは今年で最後となるので、悔いのない結果が出せるように全力で挑んでいきたいです。



米田 寛峻 選手

開成高等学校1年

私は、特別参加選手団として第30回 IOI に出ることになりました。IOI の特別参加選手団になったことがあるのは、世界でも多くて $30 \times 4 = 120$ 人しかいません。このとても貴重な体験を悔いのないものにするために、今まで失敗したことを繰り返すことは絶対にしたくないです。

また、そうすれば目標が達成できる！という気持ちで本番に望みたいと思います。



米田 優峻 選手

筑波大学附属駒場高等学校1年

今回は、私にとって初めての IOI ですが、今まで三年間情報オリンピックへ向けた精進をしてきたので、これで得た知見やテクニックを全て発揮したいと思っています。コンテストとして成立していれば人間に解けない問題なんてない、という意識を常に持って本番に臨みたいと思います。

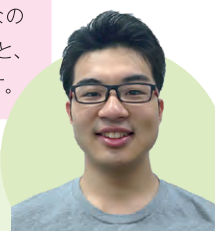


細川 寛晃 選手

灘高等学校3年

世界中の同世代のプログラマーと直に競い合えることが、とても楽しみです。自分にとっては、またとない機会なので、世界中から集まる参加者の方々と、しっかり交流していきたいと思っています。

日本代表選手団



小倉 拳 団長

日本選手団、特別参加選手団の皆さん。選抜おめでとうございます。ここに来るまでに長く苦しい戦いがあった方もいらっしゃるでしょう。とはいえ、IOIそのものはこれからです。

IOIは、ただ単にJOIの難しい版ではありません。JOIよりシビアなコンディション調

整、他国の選手との交流、異文化とのふれあい、外界との隔離など特別要素が盛りだくさんなのがIOIです。本番に向けて技量、心構えともに十分な準備をして、一緒に頑張りましょう。私を含めた選手団の団長、副団長、随員は、この特別な大会で皆さんが最高のパフォーマンスを発揮できるようにサポートします。

松崎 照央 副団長

日本選手団および特別参加選手団のみなさん、IOIへの選抜おめでとうございます。日本代表になって、IOI出場を目標に頑張って来た人もいれば、IOI金メダルを見据えて頑張ってきた人もいます。本番ではいつもの調子が出せずに焦ってしまうこともあるかと思いますが、落ち着いて問題を解く楽しさを忘れずに競技に挑みましょう。

また、IOI参加にあたって重



要なのは、競技でいい成績を残すことはもちろんですが、それだけではなく、IOI自体を楽しむこともそれ以上に重要です。日本開催ではあるものの、国際色豊かなIOIは、普段の生活や今までのJOIとはまるで違うものを感じられ、とても濃密な1週間になると思われます。競技の結果がどうであれ、いい思い出として記憶に残るよう全力で楽しみましょう。



平木 康傑 選手

灘高等学校1年

この日本で開催される国際大会に、非公式とはいえ参加できることを心から嬉しく思います。選考の試験が終わった直後は、まさか自分が8枠の中に入るとは夢にも思いませんでした。昨年度のJOIでは、本選の問題における考察で結構い

い所までつき進んだものの、経験不足から代表候補の枠をもぎ取れず非常に悔しい思いをしたため、今回このようにして雪辱を果たせたことは幸甚の至りだと感じます。来年は何としても、日本代表として参加したいです。

特別参加選手団

當眞 ジェyson翔 団長

特別参加選手団の団長を務める當眞ジェyson翔です。毎年IOIの時期になると、自分がJOIに参加していたの参加という経験は、大変貴重なものになると思っています。そのIOIの場で、皆さんも「自分自身の精一杯」を出し切ったのは、今でも良い思い出です。一年に一度しかないIOIへ



の参加という経験は、大変貴重なものになると思っています。そのIOIの場で、皆さんも「自分自身の精一杯」を出し切ったのは、今でも良い思い出です。一年に一度しかないIOIへ

松下 祐介 副団長

まず何よりも、IOI日本選手団と特別参加選手団の皆さんが、IOIの晴れ舞台で全力を発揮することを願っております。この素晴らしい場所で戦う権利を勝ち取ったのですから、悔いのないように競技に臨んでください。そして海外の優秀な若い選手が日本に集結する機会は、なか



なかあるものではありません。言葉や文化の壁を乗り越えて、日本の選手団の皆さんが海外の選手たちと深い交流をできるよう、ささやかながら手助けできればと思っています。情報オリンピックに育ててもらった一競技プログラマーとして、皆さんに心からの応援を送ります。